

国際エネルギー機関拠出金

令和3年度予算額 **3.8億円（3.9億円）**

資源エネルギー庁 長官官房 国際課
03-3501-0598

事業の内容

事業目的・概要

- 国際エネルギー機関（IEA）を通じて、エネルギー市場の安定に資する事業やエネルギー技術ロードマップ作成、脱炭素化技術に関するネットワーク形成等に資する事業を行います。

1. エネルギー市場の安定

WEO（World Energy Outlook）をはじめとするIEAの需給分析は、各国の政策立案や投資判断の重要な材料となっており、引き続きその取組を支援し、市場の透明性の向上に取り組みます。

2. エネルギー技術の研究開発分析

エネルギー技術見通しの策定を通じ、世界全体で技術開発の方向性を共有し、我が国の戦略も的確に盛り込みながら、エネルギー転換に関する国際協力を進めます。

3. クリーンエネルギープラットフォーム

閣僚級の会議を開催し、再エネ、原子力、CCUS※、カーボンリサイクル、水素を含む脱炭素技術のイノベーション促進、利用加速のための対話を促進します。

※CCUS：二酸化炭素回収・利用・貯留(Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage)

成果目標

- IEAによるエネルギー市場見直し作成や、脱炭素技術の研究開発分析及び普及促進のための活動を通じ、我が国のエネルギー転換に向けた適切なシナリオ設計やイノベーション推進に貢献します。
- 我が国のエネルギー政策を適切に国際社会に発信するため、主要会合における議長・副議長ポストの日本人数を毎年5名確保することを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

World Energy Outlook 2019



Energy Technology Perspectives 2020



クリーンエネルギー大臣会合

（第10回クリーンエネルギー大臣会合）

